京城日日新聞

電話　編輯 一三一九番　營業 一三一八番　用 三一番
定價　一ヶ月金七十錢　三ヶ月前金金二圓　一ヶ年前金金七圓五十錢
廣告料　五號活字一行金壹圓　六號活字一行金七十五錢
發行兼編輯人 鳥羽　印刷人 松崎宗次郎
朝鮮京城永樂町二丁目七二　發行所 京城日日新聞社
振替口座京城八〇三

社説

李王職の革新は根本的に断行すべし

風に傳へらるゝ所に依れば李王職は今回改革の案成り近日中に發表さるべしと、然して其傳ふる所に依れば從來の掌侍司、贊侍、會計、營繕、祭祀、儀式、掌苑の一司六課の制度を廢して三課に縮少し、從つて三課長初め職員を漸次減少することゝ確定せりと、此程度の改革……

……の甚だしきものと言はざるを得ず、家に讒百萬圓にて滿足して然るべしと思ふ、斯の如き方針を取るは是れ舊韓國時代の餘勢を受けて李王職の規模は餘りに大なるが爲めにして、李王職の組織を更に縮少する必要あり、是れ吾人が李王職に大斧鉞を加へんことを望む所以なり……

李王職は今や李王殿下御夫婦と李王世子御夫婦の二家族のみ、此二家族四人の爲に一ヶ年百五十萬圓を費すと云ふことは何人が考へても其經費の濫費たることを感ぜざる無し、我皇族方にして一ヶ年百萬圓と云ふ議費を費す所何れにあるか、何れも三十萬圓、五十萬圓……

比律賓紀行

小林　淺吉

（九）

一、市中見物

イ　馬尼刺市鳥瞰

……

東京より

英國暴動觀

財界の將來

豫算難

隨筆錄

伊達藝妓物語（六）



內外電報

排日法案運命決す

加州に於ける日本人移民問題の決定さるべき總選擧は目前に迫れるが各候補者の打留演說に於て更に一般的政治問題を取扱ひ形勢極めて靜穩となり尙日本移民問題に就ては既に論じ盡して何等新しい所なきが如く該排日法案の通過を確認し最早論議する必要なしと認むるに至れり（香港來電）

形勢共和黨に有利

米大統領選擧戰は形勢一般に共和黨側に有利なるものゝ如く觀測せらる（紐育來電）

非公式協議の經緯

坑夫側と政府側は二十二日以來引續き協議を開始するに至れるは既報の如くなるが此非公式協議の機會を造りし人物は勞働黨出身マンチエスター市長シーフオツクス氏なりフオツクス氏は初め倫敦に出張し居りしが其の時調停のことを思ひ付き直樣倫敦市長クーパー氏に相談せし所クーパー氏も之に同意せり依つて二人同道してロイドジヨーヂ首相の下に駈付け其事を申出でしにロイドジヨーヂ氏は兩者の提議を歡んで受入れ玆に政府側と坑夫側との非公式協議を締結せらるゝに至れる次第なりと（倫敦來電）

鐵道罷業無期延期

炭坑夫聯盟會及鐵道從業員組合實行委員會は二十三日打合協議を開けり炭坑夫は實行委員に對し居上鐵道從業員の同情罷業に感謝の意を表したり首相ロイドジヨーヂ氏は炭坑夫聯盟會幹部を招待して豫め會議を遂げむことを求めたり炭坑夫首領は此招待を受諾したり右炭坑夫聯盟會幹部に於ては新交渉を破壞せざらしめん爲鐵道從業員其他に同情罷業を見合せられむことを求むと告げたり炭坑夫代表者等は明朝首相官邸に於て閣員と會見する筈なり故に鐵道從業員の同盟罷業は無期延期となれり（倫敦來電）

戰禍荒廢地復舊

戰爭の爲荒廢に陷したる地方復舊事業の著しく進步したる經過に關し佛國首相マーシヤル氏はストラスブルグに於て[illegible]演說を試みて曰く戰時掠奪若くは破壞の厄に遭へる荒廢地方アルサスローレン二州の工場中七割七分迄は全部或は一部の業務を再開し恢復せざる耕地百七十五萬七百ヘクトールの中地均しを終りたるもの百五十二萬百ヘクトールにして荒廢地の內五割は既に播種を終り其內六割五分は穀物一千萬ヒスタル（一ヒスタルは百十二磅）を收穫したり右は佛國生產總額の六分の一に當り又破壞されし三千哩米突の鐵道幹線中將來の修理に俟つべき部分は僅に九哩を剩すのみにて佛國は今後二億法の賦稅を擧げ得るに至るべし（倫敦來電）

リストアニヤ形勢惡化

リストアニヤは形勢漸次惡化しつゝあり（倫敦來電）

支那の抗議執拗
琿春出兵問題愈紛糾乎

琿春事件は益重大とならむとするものゝ如く十月九日小幡公使が顏外交總長に致せる回答の內容及之に對する顏總長の回答に關し兩者間に意見の相違あり支那側の報告に依れば小幡公使は顏總長に對し日本軍隊は琿春方面秩序回復次第直に撤退すべしと言明せりといふも日本側の消息に依れば顏總長は小幡公使より日本軍隊派遣許可の通知ありし以前に於て既に日本軍二個中隊琿春に來着せるを聞知し日本が更に六個大隊を增派することに反對したりしなりと謂へり外交部は十月十一日日本公使館に抗議を提出し日本軍隊の琿春增派に反對したるが日本外務省は此提議通牒を以て支那政府が其政策を變更したるものなりと解し支那外交部側に於ては是れに反し通牒の字句は單に顏總長より小幡公使に述べたる所に更に繰返して確信したるに過ぎずと主張し居れり（東京來電）

過激派蒙古に侵入

露國過激派軍二千名は庫倫占領目的を以て蒙古に侵入せり（北京來電）

齊多陷落は確實

齊多陷落は愈正式に確認せられたり（哈爾賓來電）

大々的緊縮方針

目下大藏省に於て整理調査中なる各省提出大正十年度豫算は前年度に比し（六億圓の增加）となり居れるが一方國庫の收入は著しく減收の傾きあるを以て政府は明年度に於て（大々的緊縮方針を採り）國防及直接生產に關係ある新事業の外は一體に之を見合すべしと（東京來電）

要塞建築は明年度

陸軍省は明年度に於て[illegible]の要塞地に要塞を築造し[illegible]改築を行ふ豫備なり（東京來電）

撤兵順調に行はる

日本軍司令部は日本軍の撤退は些の障害もなく順調に行はれたる旨を言明せり（浦鹽來電）

絕食市長絕命

絕食市長マツクスウイニー氏は二十五日遂に絕命したり（倫敦來電）

定例閣議

二十六日の定例閣議にて朝鮮又は臺灣に於て徵發書を出すの職を行する件、朝鮮徵發令其他を決定せり（東京來電）

定期叙勳

二十六日大木法相以下一千三百八名に對し定期叙勳の御沙汰ありたるが其主なるもの左の如し（東京來電）

司法大臣從三位伯爵 大木遠吉
憲兵司令官 長坂研介
美術學校長正四位勳三等 正木直彥
叙勳二等授瑞寶章（各通）

東京組合銀行帳尻

東京組合銀行調査に依る東京組合銀行四十九銀行二十五日現在の預金總計は十六億九千八百三十二圓貸出し總計十一億六千三百二十二萬三千圓にて前週同期に比し預金に於て八十四萬七千六百二十八圓貸出に於て六百八十三萬一千圓を何れも增加し尙現金所有高に就ても前週に比し七百六十三萬圓の增加を示せり（東京來電）

商業教育調査

文部省に於ける商業教育調査委員會は二十六日午後四時永田町文相官邸に於て第一回總會を開き商業補習教育學制改正案に就き審議せり（東京來電）

松方內府參內

松方內大臣は二十六日午前十時參內天機並に御機嫌を奉伺したる後大臣府に入り所管事務を整理し十一時退去したり（東京來電）

總督山公訪問

齋藤朝鮮總督は二十六日午前十時山縣公を自邸に訪問し會談約二時間にして正午退出したり（東京來電）

元田鐵相病む

元田鐵相は西下の途中發熱し二十七日朝下關着山陽ホテルに入り門司鐵道病院長の診察を受け靜養中なり（下關來電）

李王職員淘汰
發表近し

既報の如く李王職にては來年度豫算編成に際し職員淘汰を行ふべく目下宮內省にて詮衡中なるが近く決定發表さるべしと（東京來電）

辭令（東京特電）

李王職事務官 田中遷
依願免本官（三等二級俸）
任李王職事務官 今村鞆
總督府府尹
（二十六日附左の通り辭令ありたり）
鐵路病院長 石原[illegible]
陸軍二等軍醫正
免本職補滿鐵病院長

滿洲錢證縮少

一時旭日昇天の勢にて十二圓五十錢拂込の株式五十六圓を唱へたる滿洲證券交換株式會社は其後財界の動搖金融の逼迫に左右せられ最近六圓臺に暴落したるが同社は將來の經營を協議し二十三日臨時株主總會を開き資本金[illegible]四分の一拂込を二十五萬圓全額拂込に縮少することゝなりたるを以て一般債權者に催告をなしたり（安東來電）

朝鮮教育令改正

朝鮮總督府教育令改正即ち普通學校高等普通學校の年限延長の件は二十七日午後の樞密院會議に附議直に特別審查員に附し審議さるべし（東京來電）

支那の利權回收熱
採炭伐木權を收め撫順炭に對抗せんとす

東清鐵道從來の燃料は主として其燃料を札來諾爾炭撫順炭及沿線各地より產出する薪を需要し來り札來諾爾炭は褐色であつて其品質良好でなく發熱量の如きも漸く四千カロリで普通薪の發熱量より稍々勝ると謂ふ程度に過ぎず撫順炭の品質優良而も發熱量七千カロリなるに對比すると問題にならぬ而て東支鐵道はチヤラノルは主として撫順炭を混合して東支西部線に使用し來り東支南部線及哈爾賓では主として撫順炭を需要し東支東部線に其生產地方たるの關係上材料として來た然るに過般支那の公使領事の待遇撤廢以來東清鐵道各種利權の回收に着々として此の企畫は進行しつゝあり從つて從來東清鐵道事業であつたチヤラノル炭東部沿線の伐木權等をも回收しつゝある而も支那はチヤラノル炭坑の採炭權を獲得し[illegible]は更に大規模の採炭[illegible]し以て是れ迄常に東清鐵道の脅威を受けつゝも止むなく[illegible]要を撫順炭に仰いでゐた[illegible]を講じつゝある然れどチヤラノル炭は如何に其出炭能力を增加するも到底其炭質の不良は撫順炭の引力に勝へず勢ひ撫順炭の需要を喚起するを以て之が對策として徹底的に沿線各地の秩序[illegible]の燃料を輸入し來るの現狀に[illegible]し遠くザバイカル又は沿海州の燃料を輸入し來るの現狀に[illegible]りと雖て東支鐵道がウスリー線の依託經營をなし沿海州の石炭を以て所屬鐵道の需要を滿たした時代を想起すれば滿更不可能事と斷じ去る事も出來ぬ要は唯滿鐵が撫順炭の炭價が果して沿海州方面の炭價と對抗し得るや否やに據つて解決するのである

輸出制限撤廢

大正八年朝鮮總督府令第百八十號物品輸出取締に關する件は大正九年十月三十一日限り之を廢止する旨二十六日朝鮮總督府官報に依り公布せられたり從つて從來は「米、麥、小麥粉、綿織、綿織紙用パルプ、印刷用紙、過燐酸石灰、硫酸曹達、硫酸アムモニア及配合肥料（硫酸アムモニア過燐酸石灰又は硫酸曹達を其の原料の一とするもの）」の輸出に付き朝鮮總督の許可を要したるも十一月一日以後は右許可を受くるを要せず自由に輸出し得ることゝなりたり本令の撤廢に付きては曩に朝鮮商業會議所聯合會、朝鮮穀物貿易商組合聯合會等に於て夫々當局に要望する所あり一般に希望せられたる所にして當局に於ても曩て調査中なりし

警官新募成績

內地に於て新に募集中の警察官志望者は二十一日迄に六千四百三十七名の應募者あり內受驗せるもの六千三百八十八名にして合格者二千六百二十一名あり此の合格者中より更に選拔の上千七百名を採用の筈にて既に全羅南道の百四十五名黃海道の八十名平安南道の八十名平安北道の百名咸鏡南道の八十名警察官講習所の二百七十三名合計七百五十八名は夫々渡鮮し他も亦逐日渡鮮すべく而して今次應募者の素質は極めて良好にして過半は軍人なるが既に渡鮮したるものゝ內には平安北道二人黃海道一人咸鏡南道四人全羅南道一人警察官講習一人宛の陸軍少尉と平安南道には海軍三等主計あり他も普通學校卒業者にして中には中等卒業者多數を包含すと云ふ

退嬰主義を棄てよ
石塚總裁視察談

石塚東拓總裁は二十六日午後九時大連に著せるが其の南北滿洲視察談に曰く滿洲各地にて金融救濟資金要望の聲盛なるも實際を觀察するに豫想外に財界は活氣を呈し居れり唯哈爾賓に於ては支那の政治的經濟的紛擾の反比例に我經濟勢力縮小の邦人は甚く悲觀狀態に陷り稍もすれば引揚をなさんとする傾向あるは滿蒙發展の一頓挫と云ふべく滿蒙に對し現狀維持を取り居れる我政府の退嬰主義の結果なり大連市にて東拓並に鮮銀に對し金融救濟資金貸出方を關東廳を經て交涉中なりと聞く東拓としては當然金融資金の貸出をなすべき筈なるを以て太田鮮銀理事と協議の上貸出決定すべし東拓の資金は社債に基礎を置くを以て近來政府の事業主義を拋擲し十分に事業をなし能はざる憾あり過般募債にて得たる二千萬圓の振り當は未だ決定せず滿洲各支店よりも相當貸出を行ふ筈なりと總裁は二十七日旅順に赴き山縣長官を訪問同夜旅順有力者の招待二十八日歸連し太田鮮銀理事と會見救濟資金貸出の打合をなし同夜大連官民有志を招待三十一日出帆榊丸にて青島に向ふ豫定なりと（大連來電）

米國歸り移民
鮮滿移住計劃

米國に於ける日本人移民排斥の結果鮮滿地の邦人は未だ法案の決定せざる今日早くも前途を見越し本國に引揚げるもの尠なからず鮮滿島等にては今や斯れが消化方法に就き苦心中なるが引揚移民は孰れも相當資財を有し居れる關係上更に又何れの地方にか赴きて農業經營を爲さんと畫策し朝鮮及滿洲に着目するもの漸く增加し目下東拓と[illegible]も種々交涉中の由にして同社京城支店事業係主任村上秀一氏は是等調査役の名稱を司事に附せる等

殖銀改制內容

殖產銀行の制度改正は目下總督府に許可申請中にて近く實施すべきが內容は勸銀貸付課より公共貸附課を新設し事務を纏めて公共貸附課を新設す一般に本支店の新規修理宿舍等に[illegible]のため營繕課を新設する事等にして同行の司事は鮮銀にて廢したるため廢するやの說もあれど鮮銀は司事廢止後副支配人課長代理調査役等の名稱を司事に附せる等

形勢逆堵し難し
鮮鐵經營還元問題

朝鮮鐵道經營還元問題に就きては十年度豫算編成期に入り滿鐵納付金額改定の必要を生ずるに及び朝鮮總督府にては豫め既定の方針の下に各種案の編成を進め朝鮮總督府河內山財務局長滿鐵より野村中西正副社長久保理事等上京中央當局と交涉中なるが兩者交涉の根本問題としては朝鮮鐵道委任經營の實績に鑑み總督府鐵の經營に對する要求及び之に對し滿鐵より總督府の監督權運用其他に關する希望等多岐互り居れるが尙は面の實際問題としては來年度の總督府豫算に繰入るべき滿鐵の納付金の數字上の問題あり即ち滿鐵にては來年度に於ける鮮鐵の收下益本線計は約千萬圓に達すべく之に對し現行率を以てすれば約五百四十萬圓の納付金を計上せざるべからず一方滿鮮財界の現況は少からざる貨物の收入減を見込まざるを得ず從つて滿鐵の收益は殆ど二百萬圓を下らざるべく之を顧る苦痛とする所なりと稱するに對し總督府にては現行率を低下せば滿鐵納付金に依る收入が總督府の鐵道公債利子の支出額に達せざるに至り財政計畫上にも亦最も苦痛と感ずる所にして斯くの如くば寧ろ相當の方法に依り自ら經營をなすに若かずとするもの如く要するに目下は尙は[illegible]根本問題に關する商議中にして其解決後始めて更ら數字上の交涉に入るべく還元問題の前途未だ容易に逆睹するを許さざるもの如し（東京來電）

鮮人側協議員
少壯者選出方針

京城府協議員選擧期日は最早餘す處二十餘日となり內地人側候補者は陸續名乘りを擧げ既に運動に着手せるもの尠なからざるに鮮人側は未だ名乘りを揚げしものを聞かず[illegible]鮮銀行支配人韓[illegible]君のみは最早確定的候補者なりと稱すれども同氏も頗る曖昧なる態度なきに非ず故に目下の狀態にては果して候補者が出づるや不明なり選擧名簿閱覽者は鮮人頗る多き數なる所の閱覽者は鮮人頗る多きより見るも決して等閑に附せるものに非ざることを立證し得べしと雖も何分本年初めての事と云へ又所謂長幼の序等にも支配さるゝ關係上遠慮する嫌ひあるも一般鮮人の意向は成るべく日本語を能く解し新智識を有する少壯有爲の人々を選擧すべしと稱し居れり

成績良好
釀造品評會 三山審查長報告

本會の出品は清酒、醬油、燒酎、味淋、朝鮮酒、果實酒、味噌及酢の八種を通し品數三百九十三點人員三百四名にして之を前回に比すれば品數に於て百十一點人員に於て五十八名を增加せり而して此等出品中より審查選拔せられたる優良品は合計百三十七點にして出品數の三割五分弱に相當せり審查の成績によれば出品は品質に於て一段の進步を示し其の優秀なるものに至りては殆ど內地の銘釀品の域を摩せんとするものあり以て當業者の苦心研鑽の跡を窺ふに足れり然りと雖釀造法の改善により今日の程度を以て甘んずべきものに非ず技術に經營に將た產額の增進に將來改良の餘地を存するもの頗る大なり

短評を試みんに清酒は其の汲水撤增加し且つ老麴を使用するもの減少したるが爲一般に色澤良好に趨けりと雖も尙香味之に伴はざるもの少からざるを遺憾とす抑清酒の色澤を淡麗にし酒質を健全且つ濃醇ならしむるには技術の巧妙を要すること勿論なるも一面に於て原料と釀造方法との關係を明かにし兩者を適應せしむること極めて必要なり朝鮮に於ける清酒か新酒に美なるもの多く古酒に醇化向上のもの少きは原料精撰の觀念に乏しきと容器倉庫其の他基礎設備の不完全殊に貯藏に處する準備の貧弱なると由するものにして將來大に改良を加ふるを必要とす

醬油は釀造に濃厚なる鹽水を使用するの弊風漸く衰へ且つ味のもの增加するの狀勢なるは寔に慶ぶべきも大體に於て出品の品位を觀察するに至れるより好風々にして上下の懸隔實に甚しきもの多く改善の餘地最大なるものあるは[illegible]

幼稚にして研究の餘地頗る大なり內地燒酎味淋製酒味噌及酢は前回に比し改良進步の跡明なるもの多きも出品少數にして總括的の評言を下すに由なし之を要するに本會の出品物は品質に於て一般に進步向上の跡を示せりと雖も朝鮮の釀造業は大體上尙幼稚の初期に屬し產額僅少なるが上に釀造の技術に經營の方法に將來改良を要するもの多きを以て…

改善策を講ずると同時に從業者の養成に努め産額の增加を圖ること極めて必要なるを信ず依つて別冊審查成績書を具し謹みて褒賞の授與を禀請す

仁倉賣買決定

時日は十一月十五日

仁川倉庫株式會社にては二十五日午後役員會を開き何事か秘議せし所ありたりとの事なるが或方面より聞する所に依れば右は過般來京城實業銀行への賣却問題に關する者の如く右賣却に關しては仁倉株主に於ては何等異議を挾む可き理由なければ大體に於て承認し居れるも其間尙は多少議論の生ずる所あり又買主ある實業銀行側に於ても買收に對する

附帶項目及事業に就き協議する所を生じ、旁々相方に於て各方面並に重役間の交涉、協議を要し自然實質風說の發表と共に卽時實行の機ありし者が終に今日まで遲延せし者の如し而して交涉の結果、銀行側の意見が確定すると同時に過般の仁倉役員會となり十六萬五百圓（現金十二萬三千圓と實銀十二圓五十錢拂込株三千株）を以て十一月十五日賣買の手續を完了するに決し二十六日午前吉田仁倉社長は上京の上實銀重役と會見し親しく其賣買を交換するに至れり右に就き某氏の談に依れば「從來京城實業銀行が仁川倉庫を買收せんとする第一の理由は仁川に於て

其支店を

設置し得べき資格を獲得せんとするにありて之は總督府の內意に基く者なる由なれど由來仁川には五大銀行の各支店ありて相隣の勢力を有し更に一行の增設を企るは屋上更に屋を設けるの嫌あり此等の事は實銀側現役に於ても察知し居る所なる可きに此際強いて斷行せんとするには其間何等かの必要を感ずるが爲めなる可く之に就きては或は仁取倉庫經營一任に伴ふ預金の吸收云々を論ずる人あり或は實銀、仁取間の關係を一層に密接ならしめ置き而して

我目的を

貫徹せんとする者なりなど論議する者あり、前者は現取引所としても地方の關係上出來得べき者に非ず後者に至りては徒らに斯くもあらんかとの自己臆測を實現化せんとする者にして全く問題とするに足らずとすれば於ける勢力を扶植せん爲め其支店設置の資格を得んとする一方法に過ぎざる者と想像するの外なし若し萬々が一此理由の外に他に何等かの理由伏在するとせば是れ繼て京城金融の仁川を征服し京仁實業界を

打て一丸

と爲さんとするにつき協議せり（後略）[illegible]

日支連絡換算率

日支聯絡旅客手小荷物運輸に適用すべき弗價貨金換算率は十一月一日より銀百弗に對し金百四十二圓に改むべしと

仁取重役建米
或は臨時總會召集か

過般開かれし仁川米豆取引所株主總會に於て森律輔夫氏より注意的勸告ありし重役建米に就ては同氏の議論稍々撤底を缺くの氣味ありしのみならず所謂革正派の軟化と共に開會前既に大勢の動かす可らざる者あり從つて列席株主の深甚なる注意を呼ぶ能はず殆ど有耶無耶の間に葬り去られたる如き觀ありしが總會後の今日に至り漸くある株主間の注意を惹起するに及び萬一重役に於て間接直接に關せず所屬仲買人と連絡を取り建米をなすが如き事あるに於ては是れ明かに總督府の命令を無視する者にして延いては前年の轍を踏む事なきにしもあらず取引所の爲には由々しき問題なれば此際此點に關し充分なる調查を行ひ若し多少なりとも右の如き事實の存在するに於ては宜しく該重役をして處決せしむべしとて目下各方面に互り秘密裡に探索中なりといふ若し不幸にも重役建米の事實が發見せらるゝに於ては單に本人の責任辭決に止まらず若松社長始め他重役にも其累を及ぼすに至る可く而して或は臨時總會召集と共に重役再選擧の頌に出て再び一大紛擾を惹起するに至るべしと思料され居れり

組合銀行休業

京城組合銀行にては來る十一月一日明治神宮鎭座當日休業に決し既に其筋の認可を得たり

各學校遙拜式

來る十一月一日明治神宮鎭座祭當日は各小中學校其他實業學校に於て休業の上遙拜式を擧行する由

御救恤下賜金配付

去る七八月に於ける水害の罹災者に對し之が救濟の爲め天皇皇后兩陛下より京畿道管內の罹災民に對し二千百六十圓の御下賜金ありたるが當局に於ては聖旨の存する所を周知せしむべく目下配付方進行中なりと

町總代會議

二十七日午前十時より京城府土木會議室に町總代の會議を開催し來る三十一日祝日及十一月一日明治神宮鎭座祭[illegible]

小松小太郎氏逝去

朝鮮銀行仁川支店長小松小太郎氏は豫て病氣にて療養中なりしが昨二十七日俄然病狀急變を來し腦出血あり手當の甲斐もなく同日午後三時半自宅にて逝去されたり

人事

▲岸南鐵道局長 廿七日朝退京
▲朝井生治氏（鮮銀理事）廿六日午後十時半入京
▲木谷平安工業社長 廿七日入京浦尾旅館に投宿
▲日本醫學校大角々員四十三名は廿八日夜八時入京し朝鮮ホテルに滯在後十一月一日滿洲に向ひ出發すべしと
▲水谷千萬吉氏（鐵業所長）廿六日夜入京浦尾へ
▲埼玉縣鮮滿視察團一行十四名廿七日夜入城巴城館へ
▲宍戸八郎氏（大阪トモエ自働車商會主）廿六日夜浦尾へ

風塵錄

▲英國の同盟罷工は未だ解決せないやうだ工業國は善いが、斯う職工に惱められては閉口だら う、愛蘭問題や、印度問題で惱まされながら、內では職工勞働者から苦められては流石英國も少々閉口だらう、併し此間に立ちて頑然と閉口の顏色を見せない所が英國の偉い所だ▲日本も米國や支那や朝鮮問題や不景氣問題位でびくくして行き詰まりだなぞと愚痴をコボすやうでは意氣地が無さ過ぎる大いに內憂外患なんのその と云ふ勢でやつて行きたい、併し原內閣の不動の姿勢を何時迄も續けられては少々閉口だ、善い加減の時に役者を變へてやつて見て は何うか、人を代へて居る中に國民の安心出來る首相大臣が一人位は得られさうなものだ、原一派の定い人物手腕も略ぼ鑑定が出來て心細い▲李王職の各課長罷免の事は擱の事實であるが、別項の如く先づ田中庶務課長辭任して今村鞆氏が事務官新任の發表があつた、武藤兩君の辭任發表も一兩日中であらう▲今村君は今迄元山府尹をやつて居つたが、元は京城本町署長を久しく勤めて居つた人で京城通の一人である、警察出身に似合はず頗る圓轉滑脫の方で融通の利く男である、其れに鮮人の內情にも尋く通じて居る、李王職事務官には善からう、但し非常の精力家で例の方が頗る好物であるから李王職の女官連は恐怖を來しはせないかと噂して居るものがある▲今村君が田中君の跡に坐ると適任であるが、一說では庶務課を掌苑課と合併して掌苑課長の末松君が庶務課長を兼ねるといふ話があるが、あのグズの末松が庶務課長では李王職の事務は一層停滯勝ちであるのみか、評判が惡くならうと云ふ噂だ▲又李王職では國分次官が罷めて外事課長で中樞院書記官長を兼ねて居る松永クンが其の後釜に坐るであらうと云ふ評判だが松永は遞信長官時代から評判の惡かつた男で、手腕は相當あるが常行人格の上に種々の噂ある許りか常に惡評が絕えないと噂されてゐる男で最も不人望だ、斯らい ふ男を李王職に持つて行くのは何うも適任ではあるまいとの評が高い。

株式界

▲京取市場前場の出來株は京株の みに留まつて他の雜株は一つとして出來なかつたのでは雜株の整理をする必要は當然の結果だ實際に於て開場以來一度も動いたことのない株が大分あるんだから▲市場も何う何時迄も閑散と不振が續いては全く困つたことが空し當り適當な振興策もないらしく先づ氣永く財界の恢復でも待つより外はあるまい▲京株は又しても十五圓臺に落ちて來たが別に是と云ふ好材料のない昨今是も亦止むを得ないことだらう

商況

二十七日大阪入電後寄

銘柄	後寄
大株	一〇〇、〇〇
同新	一三九、〇〇
郵船	[illegible]
同新	[illegible]
商船	七三、〇〇
商新	二三、四〇
鐘紡	二一八、〇〇
同新	一九九、九〇
東新	六六、九〇
上取	三六、三〇

二十七日東京入電前寄

銘柄	前寄
鮮銀	一〇七、〇〇
同新	三一、〇〇
東拓	四八、〇〇
同新	一三、〇〇
滿鐵	一〇一、〇〇
同新	一八、三〇
殖銀	四一、〇〇
同一新	一〇、三〇
東株	一二、〇〇
東取	三五、〇〇

京株市場出來値（二十七日）

銘柄	前場	後場
京取引寄	一五六、八〇〇	一五五、八〇〇
同	[illegible]	一一、六〇〇
殖新	—	—
鐵新	—	—
東拓	—	—
東新	—	—
亞新	—	—
仁取	—	—
鮮銀	—	—
同新	—	—

出來高

銘柄	出來高
殖銀	—
實銀	—
商銀	—
韓一	—
東拓	—
鮮土	—
朝紡	—
滿毛	—
京電	—
同新	—
瓦電	—
漢銀	—
電興	—
朝鮮	—
滿粉	—
同新	—
東畜	—
殖鐵	—
朝皮	—
朝肥	—
東實	四二、七〇〇
二十五日後場 二十六日前場	三、五七〇株
累計	甲 六五、八〇〇 乙 三、〇八[illegible]

外交員數名入用

指元確實なる當業家を求む履歷書身參至急申込あれ面接の上
京城日日新聞社

電話番號變更

三三九八 營業用
（夜間は九八へ）

仁川期米特電

十月二十七日前場

[illegible]

紐育株式市場

[illegible]

紐育棉花市場

[illegible]

倫敦銀塊相場

[illegible]

上海株式市場

[illegible]

東京期米特電

十月二十七日前場

[illegible]

大阪期米特電

十月二十七日前場

[illegible]

十月二十七日後場

[illegible]

明治神宮の神橋



東宮殿下の御渡歐

は明春又は明秋と御內定　御成婚期には御愉りなし

皇太子殿下には近く御渡歐あらせらるべきことは既に御內定相成りたる由にて御都合に依り多少遲延すべきも多分明春若くは明秋に御出發の御事となるべく殿下御渡歐の上は各國元首も御訪問あらせらるべしと尙殿下御結婚期に就ては幾分早めさせらるゝが如く傳ふる者あるも右は大正十三年の豫定にて夫れより早めさせらるゝが如きことは決して之無しと拜承す

陸軍秋季機動演習

棹尾の決勝戰

南北兩軍の衝突

一萬の銃劍山野に閃き　突擊の叫び高陽の平野を掃がす　最後の五分間に於ける白熱戰

第五報

露營準備

天地を搖

旅團對抗　演習終了

統監の講評

北軍增援

淨法寺

演習雜觀

李堈公

希臘王の發病は

暗殺團の陰謀

大奮發

日本郵船が

保護獎勵

面事務所

襲擊さる

飛行機墜落す

搭乘者は無事

消防演習と

馬術の演習

記念切手

高價な美しい

鐘座祭當日

一齊に

使用

腸チブス

と猩紅熱が流行する

神々しい

不逞鮮人と誤って銃殺す

附近鮮人の激昂

仁川府議の逐鹿戰

未だ蒲を持して形勢觀望　然し裏面は選擧氣分濃厚

陣頭に

勇退

社會の罪か己が罪か

浮かぶ瀨ない藝者サン

要するに生と性との惱み

四

ボロひ

年期を

一割

風樓

箔が剝げた金牧師

明日午前電車運轉停止

嚴重に

最高値から絹物は約半値

弗々出廻る

奉銃所持の內鮮窃盜

本町署の手に逮捕さる　被害高は數千圓に達す

潛伏し

目の玉

弱い女

肉を賣

早細を

誘惑品

仁川慈善演藝會

龍山本願寺へ

三面拔萃帖

昌德宮警察道場開

たるが昨二十七日府內各警察官…

各校生徒仁川見學

川商業專修學校生徒百四十九名…職五名に引率され二十六日…見學に旅行す又安山公立普通學校生徒五十名は二十五日…

籾穀より

フイルム

▲黃金館

京城
府協議員豫選投票募集

地方制改正の結果新に執行せらるゝ府協議員の選擧期日は近く目睫の間に迫れり奈何なる人物が其選に入る可きや本社は其豫選投票を募集し以て市民の意の那邊にあるかを知らんと欲す

詳細は一兩日中に發表すべし



謹告

弊社發電所煙道掃除ノ爲メ來ル二十九日午前中電車ノ運轉ヲ中止可致候間此段謹告候也

大正九年十月二十七日

京城電氣株式會社

小説 判官 照手姫

(百十一) 旭亭 櫻山 口演

案内者獨身の戰慄

サア、後の程兄弟が心配で堪りません、態々太郎が「行く」と云ふのを、庄「何のお前達に行かれては却つて困る、邪魔になるから是にお居でなさい。其に居合した者、又其を聞いた者も、待ち構まつてどんな鬼にして大蛇へ罠を仕掛けるのか、話しの種に私が案内者として行き度いもので」△「乃公も案内に行くべえ」庄「いや〳〵誰もならない、五左衞門といふ人一人で宜しい、作十から、今日篭つて其の大蛇が居れば宜しいが、居らぬ時には二日も三日でも待たなければならんから、」作十「爾其の心算で」作十「私一人で案内するのです」

んで……庄「其處へ来るのだ、ゲけ彼の松の木の下か」作「其の……」庄「ウム、爲る……から……通つた、夕、高い所から……て、ワア〳〵聲を揃へて居りました大蛇はノ、呑み込んだ庄八は其の

儘にして澤の方へザワ〳〵行つた作「澤といふのは何處だ」庄「其處まで行かなければいかない、斯んな所に居ても仕様がない、其處へ案内」作「夫れは松の木の向ふに低い所に澤がございます」庄「其處まで

か」庄「一人行けば澤山だ、お前は道を知つて居るだらう」作「其れは知つて居りますが一人ちやア少し氣味が悪い、第一女房子供のある身の上……」庄「アヘ、……其んな弱い事を云はずに、マア行つて御覧、大蛇と手前と睨み合を突き合して話をする、それは實に面白い……」作十は心細いやうな、面白いやうな、氣味悪々支度をして、人々に見送られ庄司を案内して、日のある中に相良池に着きました、日頃人の餘り來ない處だけに、景色は好いが物凄い、コレ〳〵作十大蛇の出る處は何處だ」作「ヘエ、ナ、何んだか、私はき氣味が悪くなつて參りました」庄「其權八と云ふ者の呑まれた所は何處だ」作「ア、彼の、ム、、、ヤ、向ふにマ、松の木の太いのが……」庄「コレ〳〵作十何だ貴様はもう慄へて居るのか……」作「別にコ、怖かアありませんが……」庄「怖くなければ慄へるな」作「慄へるんぢやアないんで、唯身體が自然にコ、かく動くんですぜ、

をしろ」作「私は相良池までといふ約束をしたので、此處から先は御免蒙ります」庄「何で貴様は逃ばかり戰慄つて居るんだ」作「出た時に逃げ道を考へて居ります」庄「大蛇は前からばかり出るとは限らん、作十、ソレ後の方から恐ろしい眼玉が……」作「そりや大變、旦那何處に〳〵」庄司の身體へ抱き付いて來たから庄司は面白半分引提げるやうにして、ズツと奥の澤の方へやつて來た」此處は又人が踏込んだ事がない處と見えて恐ろしく、草を生じ何とも彼とも物凄い、作「旦那、後へ戻つたのですか」庄「ア、さうぢやない、松の木が横になつて居たんだ」作「串戯ぢやアござい



古本高價買入 紙本比
●是非御試買を乞ふ●本町二丁目 ●御報次第参上 ●電話三一九五 群書堂書店

支局開設 大邱府龍岡町
南鮮支社 電話八五六
支局長 渡邊平藏
右支局開設致候に付御廣告仕候
京城日日新聞社

演藝案内

開館 名優出演
黄金館 電話二六三七 十月廿六日より特別名畫公開
新派悲劇 「岩見重太郎」全五卷
名金 全四卷
…
喜歌劇 「一寸法師さん」全五卷
…

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
實寫 十月廿二日より提供
ニコ〳〵喜劇「パテーニウ第二報」長尺
喜劇「マツクスの婚禮」長尺
尾上松之助大車輪
舊劇「金剛傳加茂」
「小太郎」全五卷
河童退治の大活劇
米國メトロヂヤー會社傑作
人情活劇「不思議の目」全五卷
メトロの明星エディス、ストーレイ嬢主演
新派悲劇「つきぬ縁」全六卷
山本、東隣野、衣笠一派總出演
筑前琵琶彈奏
實寫 飛行機上より見たる東京
ウォリアム、ローレンス氏 ジョンヒクロー青年 ファンニー、ワード嬢
新派悲劇「絶海の孤島」全五卷
絶海逆巻く絶海の孤島とは誰が名づけた？アラスカの寒氷が物凄く流れて來る北海の無人島に今人未踏の秘密境がある、北極探險の壯舉に上つた子爵の若様と島の女王の令孃との悲戀悲史、？波にむせぶ千鳥の聲にひと一しほ哀れ深い

喜樂館 本町壹丁目 電話五九七番
日活 來る十月十五日より特別大興行
當る十月二十二日より一粒よりの三大映畫提供
實寫 公園の冬
滑稽 新馬鹿の裁判長
日活向島派最新撮影
渡邊霞亭先生傑作
新派悲劇「殘る月」全五卷
薄命の因襲ほ數烈なる響きと共に爆發して其所に血花と散る人生の破滅と曲折は天空高く消え去る……鳴呼絶て地絶ての嵐の後絶て清らかふ空に殘る月影 米國パテー支社アスト映畫
冒險活劇 驚天動地の大連續映畫
「電光石火」全卅一卷
第三篇 第四篇 四卷上場
米國一の冒險俳優パール・ホワイト嬢出演の大胆極くなき不思議のロマンスを彩れる驚天動地の大映畫
説明者 富久山、小石田、石田諸氏
日活京都派新撮影封切
武俠劇 柳生又十郎
●毎日畫夜開館 ○料金は普通

元賣 販 造製 種各 パッリス
地番四十四百目丁二町井櫻 宮 治 商 店

東京蒲田驛前
日本自動車學校
自動車運轉手養成 …

朝鮮郵船株式會社
釜山支店 電話一八四番
元山出張所
京城取扱店 驛前 ○當社八滿鐵、日本郵船會社、大阪商船會社ト連帶運輸ノ便アリ

朝鮮郵船
●元山出帆
●釜山出帆
●木浦出帆
●仁川出帆

大阪行	十一月四日	新義州丸
新義州行	十月廿九日	成鏡丸
木浦行	十一月一日	成鏡丸
海州行	十一月一日	全州丸
鎭南浦行	十月廿八日	顯天丸
鎭南浦行	十一月四日	檢德丸
群山行	十一月三日	江原丸
鎭南浦行	十月廿九日	櫻島丸

佐倉式ペント金庫
同倉庫取付戸扉
御用命ノ節ハ特別勉強可仕候
各種ストーブ
京城本町三丁目 佐藤半次郎商店

大豆問屋
京城北米倉町百四十番地
中津留孫市商店

各種 萬年筆及インキ 石鹸 金庫類 卸小賣
本町四丁目 眞鍋商店
鐘路二丁目 眞鍋支店

開店披露
金賓確實
貴賓堂
京城府明治町二丁目

皮より強い理想的の
專賣 柳織トランク
▲其他旅行用具一切
▲魔法瓶及中瓶取替
京城本町 高木旅行用具店

家庭の一大福音
淺井式飯蒸器
製造發賣元 住友金物店
製造工場

辯護士 本木房吉
京城府黄金町三丁目

今般朝鮮總督府事務官職ヲ辭シ左記ノ所ニ於テ辯護士ノ業務ニ從事シ民事商事其ノ他一般法律事務ノ依頼ニ應ス
前京城地方法院判事 前京城府協議會員
辯護士 福田源一
從五位勳五等
事務所 京城府旭町一丁目（萬千閣道）
電話長七七七番

西比利亞一班 全

西比利亞は過激派の跋扈地としてのみならず今や我帝國の重要問題地となり、又世界の注目を惹ける重要地となれり、我日本人としては西比利亞の研究は刻下の急務なり、本社は此機會に於て本社の社長釋尾旭邦氏監督の下に編纂せられたる本書を廣く江湖憂國の士に頒たんとす、幸に一本を左右にし、西比利亞問題を研究する參考の資に供せられたし
（一册定價三圓五十錢 送料（市外）二十五錢）
發行所 京城南山町 朝鮮及滿洲社

小野田セメント會社製造
セメント 石灰 特約販賣
京城府古市町 東亞商工株式會社
電話 長一九七 六四二 九一七

茸方完全のセメント瓦ハ
空前ノ豪雨ニ會シ
絶對ニ雨漏ナキ
實驗ヲ經タリ
特許セメント瓦製造株式會社

落葉松苗木と種子
北鮮經營組合株式會社…
北鮮種苗組合代理店
京城黄金町二丁目
三星商事合名會社

月刊 朝鮮及滿洲

十月號 第百六十號
●行詰つた日本と其開展策 法學博士 森本厚吉
●太平洋問題と一大暗礁 一記者
●半島財界の推移 鮮銀理事 吉田節太郎
●世界改造の原理 賀川豐彦
●諸家の現代演劇觀 文學博士 厨川白村
▲社會百面相 ▲東西南北
◇始政十週年を迎へて感慨深し
◇時局に對する內地人の聲
◇琿春事件を如何に解せんとするか 釋尾春芿
▲滿蒙問答 ▲滿鮮事業界
●朝鮮四千年史 國分象太郎
●木賃宿の研究 深澤豐三
●現代臨濟禪に對する疑惑 門外漢（投）
▲東京通信 飛鳥魚郎 ▲名士の印象記 曉谷
●痔疾の豫防と療法 ドクトル 丸山清一
文藝 ◇榮轉 村上曉谷
●漢詩 ●短歌 ●俳句
發行所 京城永樂町二丁目七二 朝鮮及滿洲社

謎の國の扉は開かれ
大阪毎日新聞記者 黑田乙吉氏新著
惱めるロシヤ
著者の相棒布施君がモスコウの一番乘りをとげて世界の耳目は翕然としてロシヤに向つた。本書はモスコウ最後の引揚人であり又大革命の前後十年該地に居て謎のロシヤのドン底からクレリンの奥底まで知りつくした著者が、大ロシヤの眞相を解剖すべく縦横の才筆を振つたもの、殺戮懊悩七轉八倒の中に最高至美の大藝術を抱擁するロシヤの悩みは指すが如く本書に躍動してる、政治的にも藝術的にも、將又社會問題の上からも、近頃珍らしい深刻の好著である。

女權問題に對する爆彈の投下！日本婦人の歸趨
池田小菊女史新著
僕には要る妻がない

最新刊
ドロシイ、カンフイールド女史作 文學士 森田草平譯
大戰と女
今度の大戰に於て女性が一方戰場に在る男子に對して如何に大なる力を有せしか、其の夫、子、親、兄弟等の心臟を通じて如何に彼等が活動せしか、又一方其の家庭——悲慘極まる家庭又は病院などに於て如何に苦しき生活に堪へ來りしかを、眼に見ゆるが如くに描寫せるもの。宜なるかな本國に於て忽ちにして數十萬册の賣飛したることや。
發行所 東京 合名會社 弘道館